

# なかよし

天童中部小学校

いちよう学級だより

R4,10,11

## ともに、日々を積み重ねた人がいるから

チーム学習の時間のことです。その日は、ひき算の学習をしていました。「りんごが7こありました。2こ食べました。のこりは？」という問題に、Aさんは、「あ、『のこり』って書いているってことは、ひき算だよ！」と勢いよく答えました。「だってねえ、私ね、去年のチーム学習はT先生とだったんだけど、T先生がね、『のこりは』って書いてあるときはひき算だよって一緒に勉強して教えてくれたんだもん！」と教えてくれました。「でもねえ、T先生はやめちゃってさ、私、一緒にたくさん勉強したからすっごく悲しかったんだよ。めっちゃ泣いた。」と今度は悲しい顔で話しました。その話を聞いていた隣のBさんは、「わたしもね、去年はO先生と勉強してたの。O先生とね、九九をやったよ。O先生と九九したからね、今はわり算ができるんだよ。」と自信にあふれた表情で話しました。「でもね、O先生も違う学校に行っちゃってさ。私もめっちゃ悲しかった。」と。2人の会話を聞いていたC君は「あ、そういえば、T先生とはパンケーキ作ったなあ。その時さ、T君のパンケーキはドロドロのスペシャルなパンケーキでさ。でもT君それ食べたんだよ。あははは。」と笑顔で話すと、みんなもつられて「あははは！」と教室に笑い声が響きました。

その一通りの話を聞いていて、私は子供たちのすばらしさに心から感動しました。今、自分ができていることの背景には、一緒に日々を重ねた先生や友達がいるということを心に刻んで、今のがんばりにつなげていることの素晴らしさ。子供たちが力を伸ばすというのは、知識が増えるとか、技能が高まるとか、単に量が増えるような話



ではなく、もっともっと、その時の景色やら感情やらたくさんの物が複雑にからまって記憶に残り、それらが力を伸ばしているということに気付かされた瞬間でした。そして、そのような尊い瞬間に関わることができるこの仕事の素晴らしさ、面白さをあらためて感じ、これからさらに子供が力を伸ばす授業づくりをしなくてはと背筋が伸びる思いがしました。日々、子供たちは大事なことを教えてくれます。